

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	鶴見高等学校	個人	こくしょう たつき 國生 大樹	3	体育祭実行委員長を務め、新型コロナウイルス感染症対策を考えて実施可能な計画を立案し、当日は、リーダーシップをとり、全校生徒をまとめ体育祭を成功に導いた。また、体育祭という行事が途切れることなく今後も実施できるよう後輩たちのことも考え行動した。その姿勢は、他の生徒の模範となった。
2	神奈川県立 神奈川工業高等学校	団体	ちむどんどん応援プロジェクトチーム	—	横浜市鶴見区の地域活性化に貢献するため、NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」の放映にちなみ、沖縄県人会と協力し、デザイン科は、地元小学生対象の工作教室を開催し、機械科は、作品を制作し贈呈した。 それぞれのグループが自分たちの専門的な技術を披露することで、地域の人たちに感動を与え、地域活性化に貢献した。その活動は、他の生徒の模範となった。
3		団体	デザイン科1年	—	授業の中で、デザインの基本やデッサン、構図を学び、作成したポスターがどのような意味や目的、背景で作成したかのプレゼンテーションまで行っている。さらに、社会で実践できる力を身に付けていくため、「山火事予防ポスター」「トンボ絵画コンクール」「国際コイン・デザインコンテスト」等への応募を各自が積極的に行った。 数多くのコンテストに挑戦する姿勢は、他の生徒の模範となった。
4		団体	放送部	—	神奈川県警察本部からの依頼で、特殊詐欺加担防止についての短編動画を制作した。講義形式進行や再現VTRにより高校生目線で同世代に分かりやすい内容になるよう工夫した。 神奈川県警察本部の公式YouTubeで閲覧することができ、学校現場でも、非行防止教室等に活用されている。また、神奈川県警察本部から感謝状が贈呈された。その活動は、他の生徒の模範となった。
5		団体	かとう じんのすけ 加藤 仁之助 はしだて ゆづき 橋立 裕規	—	ものづくり同好会に所属し、ものづくりコンテストに向け、プログラムと電子回路の製作において日々練習を重ね、技術向上に取り組んだ。その結果、令和4年度高校生ものづくりコンテスト電子回路部門神奈川大会優勝という成績を収めた。 生徒が主体となって、活動の計画、技術の学習から指導まで行う姿勢は、他の生徒の模範となった。
6		個人	かわだ まき 川田 真紀	2	第68回関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会シンボルマークに応募し、最優秀賞を受賞した。そのシンボルマークが、大会冊子やポスター、ホームページ等に掲載され、大会のコンセプトやメッセージを伝える役割を果たした。イラストレーションソフトでの描画に挑戦し、細部にまでこだわり線や色彩を調整する等試行錯誤しながら、完成に至った。 新しいことに挑戦する姿勢は、他の生徒の模範となった。
7		個人	しのざき たかと 篠崎 貴翔	3	第3種電気主任技術者試験に2年次から挑戦し、科目合格を経て令和4年度に合格した。学習面のみならず、部活動では陸上競技部に所属し、生徒会では副会長を務めている。多忙な中、朝早くに登校して勉強し、夜は部活を終えて帰宅してから深夜まで試験勉強をした。 継続的に学習に取り組み、学習面及び校内の活動において努力する姿勢は、他の生徒の模範となった。
8		団体	デザイン科 課題研究・アニメーション班	—	茨城県ひたちなか市の地域活動「ひたちなか開運鉄道神社」でのプロジェクトンマッピングのコンテストに応募した。「ひたちなか市と海浜鉄道」のテーマに従い、各駅の特徴や周辺地域を調べて作成した。電車のボディに1分30秒のアニメーションを投影、鉄道各駅にちなんだ特徴になるように物語風に構成することで、地域の方に、楽しんでもらえる作品にした。 地域社会へ貢献する取組は、他の生徒の模範となった。
9		個人	おくだ ましろ 奥田 ましろ	3	写真部に所属し、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会撮影会部門において、優秀賞を受賞した。その作品は、PCを使わずにデジタルカメラのボディー内で画面合成を行う機能をフルに活用したもので、インターネットで国内外に放送される等、今後の映像作品のあり方を示す記念碑的な作品となった。 新しい取組に挑戦する姿勢は、他の生徒の模範となった。
10		個人	こばやし ももか 小林 桃華	2	横浜市選挙管理委員会主催の令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクールに応募し、優秀賞を受賞した。夏休み中も教師の助言を受けるために登校し、その助言から構図や色彩を再考し、完成に至った。18歳で選挙に参加することを後押しするメッセージが力強く表現されたポスターとなった。 他者の意見を取り入れながら、コンクールに挑戦する姿勢は、他の生徒の模範となった。
11		個人	ささき みお 佐々木 美音	3	夏休み期間中に、通常の課題がある中、独自に「ORANGE CAPアイデアのタネコンテスト」へ参加し、優秀賞を受賞した。また、日頃より、部活動や教科の課題を率先して取り組み、部活動では、ラグビー部のマネージャーとして、部員の確保や選手の健康管理・ケアを行っている。 課題や部活動に積極的に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
12		個人	さいとう はじめ 齊藤 孟	2	5歳から空手を始め、週3回道場に通り4時間の練習、その他の日にも毎日自主練習に励む等、日々努力を積み重ねてきた。その結果、NPO法人全世界空手道連盟新極真会主催のカラテドリームフェスティバル2022全国大会において、組手 高校生男子 軽量級3位という成績を収めた。 また、学校生活においても努力を惜しまず、文武両道を実践している姿勢は、他の生徒の模範となった。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
13	神奈川工業高等学校	個人	よねだ りゅうじ 米田 隆志	3	相撲部に所属しており、令和4年度神奈川県高等学校総合体育大会において重量級で優勝し、全国大会に出場した。また、その相撲の実力を生かして地域貢献できる方法を考え、横浜市鶴見区で開催された沖縄県の伝統格闘技である沖縄角力大会に初めて参加した。 異種格闘技に新たに挑戦し、地域を大いに盛り上げようとした姿勢は、他の生徒の模範となった。
14		個人	さわい そうた 澤井 藏太	2	空手道場に通い、空手を通じて心身を鍛えている。2022廣重杯全日本極真空手道選手権大会において高校生男子上級軽量級の部で優勝し、さらに、第一回インターナショナルコンベンション空手道選手権 組手 アンダー18男子軽量級で準優勝という成績を収めた。 また、学校生活においても、学習活動によく取り組んでおり、様々な活動を主体的、積極的に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
15		個人	すずき はる 鈴木 陽	1	神奈川県立横浜瀬谷高等学校校章デザインコンテストに応募し、応募総数139作品の中から最優秀作品に選ばれ、そのデザインが県立高校改革により令和5年4月に開校する横浜瀬谷高等学校の校章として採用されることとなった。 新校の校章のデザインを提供することにより、県立高校生という立場で、新校設立だけでなく、現在進められている県立高校改革に貢献した。
16		団体	建設科課題研究 模型製作 班	—	地域貢献活動の一環として、NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」で舞台となった横浜市鶴見区の沖縄県人会の方々を応援するため、「首里城正殿」の模型を製作した。製作にあたって沖縄の歴史を探究し、首里城の大切さを改めて認識したうえで製作に取り組んだ。材料は全て新聞紙で、実物の1/50のサイズを、精巧に作り上げた。 模型作りで地域貢献するその姿勢は、他の生徒の模範となった。
17		団体	建設科課題研究 木材加工 班 【アルスタくん：沖縄 バージョン】	—	NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」の影響で、舞台となった横浜市鶴見区の沖鶴会館に多くの人が集まることを考慮し、沖縄県人会の方と協力し感染対策を考えた。足踏式アルコールスタンドの改良型（「アルスタくん」沖縄バージョン）と題し、アルコールスタンドに沖縄の特徴を取り入れたものを考えた。 試行錯誤を繰り返し、アンケート等からヒントを探し努力した。このような姿勢は、他の生徒の模範となり、地域貢献につながった。
18		個人	あいかわ ゆうま 相川 佑麻	2	生計を立てるためのアルバイトをしながら学業、資格取得、コンクール出場等、多岐にわたる活動に励んでいる。その取組や自分の意識、姿勢をスピーチ原稿にまとめ、第72回神奈川県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で発表し、5位入賞を果たした。また、自らの進路を考えて学校間連携授業も受講したり、製図コンクールや各種資格試験にも取り組み、着実な成果をあげている。 様々な分野に果敢に挑戦する姿は、他の生徒の模範となった。
19		団体	軟式野球部	—	通信制高校と合同チームを組んで公式戦に出場しており、放課後の活動時間を両校で合わせ、互いに技術と技能の向上を目指しながら練習に励み、令和4年度神奈川県高等学校定通軟式野球秋季大会準優勝等の成績を収めた。 定時制授業終了後の限られた時間や場所を最大限に活用した。困難なことでも最後まで諦めずに前向きに取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
20		団体	体育行事実行委員会	—	生徒たちが主体的に取り組むことのできる体育大会にするため、意見を出し合い工夫を重ねた。また、初の試みとなる結団式、競技練習も中心となり計画・開催し、新たな取組にチャレンジした。体育大会当日は、会場の準備や打合せ等を教員とともにやり、大会中は記録、審判や司会進行等の役割を果たす等、積極的に行事を運営した。 主体的に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
21		団体	文化祭実行委員会	—	令和4年度から新たに全日制と定時制との合同企画を立ち上げ、企画から運営までを合同で行った。また、文化祭への参加意欲向上のために、定時制文化祭大賞の立ち上げ、事前PRのための動画作成等にも取り組み、準備段階から文化祭を盛り上げることに大きく貢献した。 限られた人数のなかで、全日制との合同企画等様々な取組を実行する等、主体的に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
22		神奈川総合高等学校	個人	よしだ ゆうき 吉田 優輝	3
23	城郷高等学校	団体	体育祭実行委員会+応援団	—	体育祭の開催と成功に向けて、体育祭実行委員会が中心となり企画した。コロナ禍で安全に行える種目は何か等、生徒自身が知恵を出し合い、生徒、保護者、教職員と協力して行事を成功させた。また、体育祭メイン種目の一つである応援合戦では、応援団が、衣装やダンス、掛け声を創作した。 インクルーシブ教育実践推進校として、すべての生徒が活躍できる行事を企画・運営したその姿勢は、他の生徒の模範となった。
24	城郷高等学校	個人	たかみざわ りょうか 高見澤 涼香	1	令和4年10月、演奏会会場で体が不自由なお年寄りの方が家族とはぐれてしまい、道を生徒に尋ねたのをきっかけに、長時間その方に付き添い、家族と共に探した。その結果、ご家族と引き合わせる事ができた。後日、学校に感謝の手紙と手作りの押し花のしおりが届いた。 困っている方に寄り添い助けたいという想いを行動に移して実践したその行動は、他の生徒の模範となった。
25	横浜緑ヶ丘高等学校	団体	保健委員会	—	コロナ禍の学校生活の様々な場面において、継続して「自制心、手を抜かない予防対策」に重点を置き、委員全員で予防的な行動や健康づくりを周知し、全校生徒に最善で最適な予防行動を促している。また、チームで救護活動に当たれるように、委員同士のソーシャルスキルの向上、応急手当勉強会内容の検討、様々な学校行事当日までの準備の仕方の再構築等を精力的に行っている。 学校保健計画を意識し活動目標を定め、生徒が主体となり委員会活動を行う姿勢は、他者と協働して課題解決に導く「科学的探究力」の育成に資する手法であり、他の生徒の模範となった。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
26	横浜立野高等学校	団体	文化委員会・後夜祭実行委員会・生徒会執行部	—	文化祭と後夜祭の開催に向けて、感染防止対策に十分配慮した計画・立案を行い、工夫して運営等に取り組んだ。企画内容の検討、チケット制による入場者の制限、100円単位の定額現金制、当日の飲食スペースの確保等、最大限の感染防止に努め、3年ぶりに実施した行事を成功させた。 生徒が主体的に多くの課題を乗り越えようとする姿勢は、他の生徒の模範となった。
27		団体	生徒会執行部・LHR委員会	—	クラスの日（体育祭）の実施に向けて、感染防止対策に十分配慮した計画・立案を行い、準備段階では、生徒の意見を反映した競技種目への変更、応援団による応援方法等、生徒の満足度を高める様々な工夫を凝らした。また、当日の進行ではスケジュールどおりの運営に努め、行事を成功に導いた。 生徒が主体的に多くの課題を乗り越えようとする姿勢は、他の生徒の模範となった。
28		個人	すずき しょうた 鈴木 将太	1	令和4年10月、生徒2名が下校途中に駅のホームで電車を待っていたところ、混雑した電車から降りてきた利用客が足を踏み外し、電車とホームの間に足をはさんでしまった。周囲にいた人がその方を引っ張りあげるのを見て、1名が駅員に知らせに行き、もう1名は持っていたペットボトルのお茶を差し出して、利用客を励まし続けた。翌日、救助された方から学校に電話があり、その思いやりに満ちた行動に対して感謝を述べられた。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
29		個人	まつお たくま 松尾 拓磨	1	見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
30		個人	はたの ゆうま 畑野 優真	2	横浜F・マリノスユースに所属し、選手として、第46回日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会に出場し、銀メダルの成績を収めた。また、U-17日本代表選手に選ばれ、「HiFA 平和祈念2022 Balcom BMW CUP 広島ユースサッカー」に出場し優勝した。11月にはクロアチアへの海外遠征に参加した。 学校生活と両立しながらサッカー競技で活躍するその姿は、他の生徒の模範となった。
31		個人	ついの はな 角井 花	2	コナミスポーツのダンススクール選抜チームJ.B STARの副リーダーとして、国内予選を経て、令和4年8月にアメリカで開催されたヒップホップダンスの世界大会「2022 WORLD HIP HOP DANCE CHAMPIONSHIP」に出場し、メガクルー部門でJ.B STARが5位、バーンティ部門でもJ.B STAR VARSITYが5位となった。 学校生活と両立しながらダンス競技で活躍するその姿は、他の生徒の模範となった。
32		個人	たきた あおい 瀧田 葵	3	令和4年6月、生徒3名が学校の近隣を彷徨っていた小学生3名を保護した。その小学生は授業中に学校を抜け出し、2時間以上も歩いており、熱中症も疑われたため、飲み物を与える等の対応をした。その後、小学校に連絡し、小学校教諭が迎えに来るまで、その小学生に付き添った。小学校では、児童の所在の確認をしているところで、無事に保護することができ、小学校と警察署から感謝の連絡が学校にあった。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
33		個人	なかの えま 中野 愛葉	3	
34		個人	もとおか じゅな 元岡 珠那	3	
35		横浜国際高等学校	個人	きょうごく あおば 京極 青葉	2
36	個人		いしだ はの 石田 羽乃	3	3年間スペイン語を履修し、清泉女子大学スペイン語文化祭第3回高校生スペイン語スピーチコンテスト第1部門において3等賞を受賞した。 1年次より熱心に第二外国語であるスペイン語の学習に取り組み、スピーチコンテストに向けても妥協することなく真剣に練習を積み重ねた姿勢は、他の生徒の模範となった。
37	個人		せと たま 瀬戸 たま	3	学校外の活動として太極拳を長く続けており、2年次には南関東ジュニア太極拳大会で優勝、東日本太極拳ジュニア強化選手に選出された。3年次は第30回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会で優勝し、MVPに選ばれた。また、第39回全日本武術太極拳選手権大会で第2位という実績を残した。 日頃より学習面をはじめ学校生活全般にわたって熱心に取り組んでおり、太極拳と学校生活を両立する姿勢は、他の生徒の模範となった。
38	個人		もろと りん 諸戸 凜	3	3年間スペイン語を履修し、地道に努力を重ねた。2年次末、卒業生とも協力して練習に打ち込み、清泉女子大学スペイン語文化祭第3回高校生スペイン語スピーチコンテストにおいて、最優秀賞を受賞した。 1年次より熱心に第二外国語であるスペイン語の学習に取り組み、スピーチコンテストに向けても妥協することなく真剣に練習を積み重ねた姿勢は、他の生徒の模範となった。
39	商工高等学校	個人	おりと りん 織戸 凜	3	令和4年7月、登校途中に学校の最寄りのバス停付近で体調不良により動けなくなっている他校の女子生徒を見かけ、声かけをして付き添い介抱した。後日、介抱した女子生徒の保護者から連絡があり、その丁寧で思いやりに満ちた行動に対して改めて感謝を述べられた。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
40	二俣川看護福祉高等学校	団体	おがわ ことね 小川 琴音 さかした あやの 阪下 綾乃 ひがし まいこ 東 舞子	—	日頃より、共通教科と福祉の専門教科をバランスよく学んでいる。福祉科の専門教科では、介護技術を学んでおり、介護職員初任者研修の取得に向けて、日々介護技術の向上にも取り組んでいる。神奈川県高校生福祉研究発表会に向けても妥協することなく真摯に練習を積み重ね、ベッドメイキング部門において最優秀賞を受賞した。 日々、真剣に学習や実習に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
41	釜利谷高等学校	個人	はねだ さな 羽田 紗南	3	令和4年5月の登校途中、階段から転倒し、大怪我をして動けなくなっている男性を見かけて、すぐに救急車を要請した。後日、退院された男性が学校を訪れ、その迅速で思いやりに満ちた行動に対して改めて感謝を述べられた。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
42		個人	よこみぞ そらと 横溝 空虎	3	令和2年8月の登校途中、自転車ごと転倒して動けなくなるとバス停のベンチに座っている女性に対し、スーパーから持ってきた氷や生徒のタオルで女性を手当てした。女性は回復し、その場に居合わせた男性が自宅に送っていった。その後、男性から、生徒の対応の素晴らしさと、介抱された女性が、その丁寧で思いやりに満ちた行動に対して感謝を述べられていたと、学校に連絡があった。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
43		個人	たかはし さゆり 高橋 沙友莉	3	令和2年10月の下校途中、自転車に乗っていた女性が他の自転車と接触し転倒して怪我をして動けなくなっている場面に遭遇し、警察や救急車が到着するまでずっと女性に付き添った。後日、女性の家族の方から、その思いやりに満ちた行動に対して感謝を述べられた。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
44	霧が丘高等学校	団体	霧コンシェルジュ	—	ボランティア活動として学校説明会に参加し、あいさつ運動やパンフレットの作成を行った。また、説明会の司会業務や校内の様子、行事についてまとめ、壇上での発表を行った。学校の特色を理解し、その魅力を外部の方に積極的にアピールするため、主体的に作業に取り組んだ。 ボランティア活動を主体的に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
45		個人	ひらた かんた 平田 寛太	2	令和4年10月、道に迷っている高齢女性を発見し、110番通報をし、女性は無事に保護された。その後、緑警察署長から表彰状を授与された。困っている方を進んで助ける正義感を持ち、学校の外でも積極的に他者と関わりをもった。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
46	市ヶ尾高等学校	団体	ジャグリング部	—	校内活動と地域行事を軸に練習を重ねている。あおば支援学校との他校種交流会では、ジャグリング体験を通して両校の交流を深めた。OBAスポーツフェスティバルでは、地域住民にパフォーマンスを披露し、地域行事の振興に貢献した。また、学校説明会では学校の部活動を代表し、約1,500人の前でパフォーマンスを行い、中学生および保護者に学校の魅力を発信した。 ジャグリングを通じて地域貢献に寄与する姿勢は、他の生徒の模範となった。
47	田奈高等学校	個人	せきぐち まなと 関口 真樹澄	2	令和4年4月、自宅付近で火災が発生し、当該生徒と家族がいち早く救助活動を行った。消防隊員が到着する前に消火し、火災元の家屋の裏手から、取り残されていた住人を手際よく救助した。この勇気ある行動に対して、所管する消防署の消防長から感謝状が授与された。 危険を伴う現場であったにもかかわらず、勇気を持って自主的に人命救助を行うという勇敢な行動は、他の生徒の模範となった。
48		団体	生徒会本部役員及び文化祭 実行委員会	—	紅葉祭の開催に当たり、生徒会本部役員と文化祭実行委員会が協働し、企画打合せを繰り返し、準備、運営を主体的に行った。コロナ禍における対応を加味して企画を立案し、当日の感染対策の徹底を図った。また、恒例の企画に加え、公開翌日を片付け及びエンディングセレモニーとする新たな企画を立案し、生徒たちにより達成感のある文化祭企画を実現した。 これらの取組は、主体性等を醸成する機会となり、他の生徒の模範となった。
49	荏田高等学校	個人	えんどう りゅうしょう 遠藤 龍匠	3	学校にボクシング部がないため特別同好会として活動している。平日は放課後ジムで、週休日は自主的にトレーニングを行い、体と技術を鍛えてきた。減量が重要となるスポーツであるが、独学で栄養学を学び日々の食生活にも気を配った。その結果、全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会準優勝等の成績を収めた。また、学習活動、学校行事にも積極的に参加している。 学業とボクシング競技を両立する姿勢は、他の生徒の模範となった。
50	横浜桜陽高等学校	個人	さいとう だいき 齋藤 大樹	3	構造が複雑で各教室の配置が分かりづらい不便さを解消して来場者の利便性を図るため、図書委員として教室等の案内板の作成に取り組んだ。案内板を作成する中で、見る者にいかに情報を分かりやすく伝えることができるかを考え、文字の大きさ、色等工夫を加えていった。 委員会活動を通して自ら学校の課題を発見し、その解決のために、案内板の表示を考え、実践した姿勢は、他の生徒の模範となった。
51	上矢部高等学校	個人	いわた ののか 岩田 和佳	3	美術部部長を務め、ボランティア活動として、共同制作の中心となって社会貢献を行った。JR大船駅からの依頼で駅構内に美しい風景を描き、それを契機に地域のラジオ局から出演を依頼され、話題になった。また、コンクールにおいても最優秀賞等を複数受賞した。 学業や行事等、どの活動においても手を抜かず、リーダーシップを発揮した。そうした姿勢は、他の生徒の模範となった。
52	横浜栄高等学校	個人	みかみ ちさこ 三神 千咲子	3	第9回かながわ高校生POPフェスタに自ら参加し、書店にあるPOP見本や過去のコンクール受賞作を研究して、金賞を受賞（優勝）した。 また、図書委員会においては、カウンター・展示・広報・図書選定等のあらゆる業務を積極的にこなし、ひたむきに取り組む等、他の生徒の模範となった。
53	松陽高等学校	団体	ラグビー部	1	ウクライナ各地で激化している戦闘の報道を受け、自分たちに何かできることはないかを考え、神奈川県から各県立学校へ設置した募金箱に着目し、近隣の駅で募金およびウクライナの現実を広める活動を行った。当日は多くの方が関心を示してくださり、多くの募金を集めることができた。 生徒自ら、自分たちでできることを考えて行動する姿勢は、他の生徒の模範となった。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
54	横浜修悠館高等学校	個人	ふくとう ともや 服藤 友也	1	NHK高校講座「公共」のオンライン収録に学校のICTシステムを上手く活用して積極的に参加した。また、神奈川県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に参加し、外国につながる自身のルーツや、小中学校時代の不登校経験からいかに高等学校での継続的な学習参加が可能となったかを発表した。 部活動では、音楽研究部に所属し、第17回青春かながわ校歌祭や文化祭等の活動に積極的に参加している。こうした姿勢は、他の生徒の模範となった。
55	瀬谷高等学校	団体	文化祭スタッフ	—	有志生徒による学校全体の文化祭運営団体であり、企画や会場づくりを行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、唯一の経験者である3年生を中心に、計画の見直しや確認等を行った。 困難に屈することなく、工夫と行動力で文化祭を復活させた取組は、他の生徒の模範となった。
56		個人	いしかわ ゆの 石川 悠乃	3	1年次より写真部に所属し、神奈川県高等学校文化連盟写真専門部の写真コンテストに毎回精力的に応募し、2年次では、特選、入選に選ばれた。さらに、特選作品「あみだくじ」は第46回全国高等学校総合文化祭写真部門の県代表に選出され、最優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。 常によりよい表現を目指して様々な技法等を模索し、撮影や作品制作に真摯に取り組んでおり、その創作に向かう姿勢や向上心は、他の生徒の模範となった。
57	瀬谷西高等学校	団体	SEYANISHI SDGs Project 食品ロスプロジェクトチーム	—	食品ロスの現状を学び、地域企業や自治体と連携して、校内や地域におけるフードドライブの実施、食品ロス削減のための啓発物品の作成と実店舗への掲示等に取り組んだ。この活動が高く評価され、消費者庁・環境省主催の令和4年度食品ロス削減推進表彰において、審査委員会委員長賞を受賞した。 主体的な社会参画を視野に、地域企業や自治体と連携を図り、ひたむきに取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
58		団体	フラワーロードプロジェクト（3学年全員）	—	再編・統合で完結する最後の学年の生徒全員で、令和3年度秋から、地域と協働して瀬谷駅前や「国際園芸博覧会」開催予定の旧上瀬谷通信施設までの1,5kmに及ぶ海軍道路を植栽した。このフラワーロードプロジェクトは、衆議院国土交通委員会でも取り上げられ、横浜市主催の第29回横浜環境活動賞において、児童・生徒・学生の部大賞を受賞した。 学年が一丸となり目標に向かって取り組む姿は、他の生徒の模範となった。
59	住吉高等学校	個人	さわだ あいか 沢田 愛佳	2	令和4年11月、登校中の生徒3名が、学校付近でリハビリ送迎車を一人で待っていた高齢者が倒れたところを目撃し、すぐにその方に駆け寄り、声をかけた。その時、その方の娘さんが自転車で帰ってきたので、娘さんと一緒にその方を家の玄関に運び入れ、救急車を要請した。その日の午後、この高齢者の娘さんが状況の報告と生徒にお礼を述べるため来校された。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
60		個人	すがわら みほ 菅原 美羽	2	
61		個人	わたなべ ひな 渡邊 陽菜	2	
62	麻生総合高等学校	個人	まき あすか 槇 明日香	3	美術部に所属し、日々技術の向上に励んでいる。3年ぶりに実施された文化祭で、コロナ禍における制限がある中でも盛り上げようとポスター、パンフレット、正門アーチのデザインを担当し、その実力を十分に発揮し、文化祭の成功に大きく寄与した。 熱心に制作活動に取り組み、学校内の様々な場所で作品制作を通じて行事等を盛り上げようとする姿勢は、他の生徒の模範となった。
63		個人	かい ゆいな 改 ゆいな	3	学校公式キャラクターのデザインを作成し、公式キャラクターとして採用された。キャラクターは、学校行事、HP、SNS等で使用され、親しまれている。 このデザインを作成するにあたり、学校公式キャラクターとしてふさわしいものは何かを追求し努力した。 また、学校生活では、学業と軽音楽部の活動の両立ができており、様々な活動に自主的かつ積極的に取り組んだことは、他の生徒の模範となった。
64	横須賀高等学校	団体	三浦半島の貝殻研究チーム	—	SSHの探究活動において「サステナブルな三浦半島～貝殻のもたらす地域経済の活性化～」をテーマに、貝殻の資源化の可能性を調査した。また、地域経済の活性化を模索するため、産業的活用を目指した試行実験や教育的活用を目的とした中学生対象科学教室を行う等、精力的に活動を展開した。その研究成果を「第16回高校生理科研究発表会」で発表し、奨励賞を受賞した。 自ら答えを掴み取るまで探究を重ねる姿勢は、他の生徒の模範となった。
65		団体	ハマダンゴムシ研究チーム	—	SSHの探究活動において「ハマダンゴムシの体色パターンと生息環境との関係性」をテーマに3年間継続して研究を行った。先行研究の少ない分野で試行錯誤を重ねながら「生息環境との関係性」についての方向性を示した。3年次には令和4年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会で発表を行った。 先行研究の少ない分野で、生徒自身が試行錯誤を繰り返しながら研究を行う姿勢は、他の生徒の模範となった。
66	横須賀大津高等学校	個人	ふじわら のあ 藤原 乃愛	3	小学5年生からキックボクシングを始め、競技人口が限られた環境にあっても自ら進んで技術の向上に努め、練習を重ねてきた。その結果、令和3年5月にプロデビューすると6戦無敗のまま、令和4年5月に日本タイトルマッチに臨み、見事勝利を収めチャンピオンとなった。 幼い頃より大きな目標に向かって努力を重ねて榮譽を勝ち取り、更に世界チャンピオンを目指して精進を続ける姿勢は、他の生徒の模範となった。
67	深沢高等学校	個人	せきぐち たくま 関口 拓真	3	自転車競技部を創設し、部員は1名で専門の指導者もない環境の中、自ら考えてトレーニングを行う等、主体的に取り組んだ。その結果、令和4年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会や国民体育大会（とちぎ国体）自転車競技に入賞する等、高い戦績を残した。 自転車競技について自ら考えて主体的に行動した姿勢は、他の生徒の模範となった。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
68	湘南高等学校	個人	ポウ ホイ イー	3	第72回神奈川県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で、「多文化共生部は心の居場所」というテーマで発表し、最優秀賞を受賞し、第70回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会では、日本放送協会会長賞を受賞した。大会に参加するにあたり、発表練習を重ね、直前に校内リハーサルを行う等、努力を重ねた。また、多文化共生部では、部長として、様々な外国につながるルーツを持つ部員をまとめ、各国の母国語理解や文化祭への参加等に尽力した。授業も積極的に参加しており、そのような姿勢は、他の生徒の模範となった。
69		団体	生徒執行委員会	—	様々な学校行事の企画から運営まで、自主的な活動を行った。3年ぶりの外部来場者への公開となった全定合同文化祭では、全日制生徒と連携・調整し、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、定時制の催し物を盛り上げた。体育祭の前夜祭では、企画から運営全般を行い、全校生徒を盛り上げた。学校行事の運営を主体的に行い、全校生徒をリードする姿は、他の生徒の模範となった。
70	藤沢西高等学校	個人	やまざき はやと 山崎 隼	3	生徒会長として校内の行事全般にわたって中心的な役割を果たした。特に、地域活性化について話し合う子ども会議「マイミライ」の議長を務め、異校種の児童・生徒の学年同士が意見交換しやすいうちに会議の進行を行った。また、3年ぶりに開催される大庭市民センターふるさと祭りの看板作りの制作に率先して関わり、有志メンバーとともに完成させた。地域との交流を大切にし、貢献する姿は、他の生徒の模範となった。
71	藤沢工科高等学校	個人	のぐち こうたろう 野口 弘太郎	2	建築研究部に所属し、毎日の地道な練習や難しい技能の習得により、第22回高校生ものづくりコンテスト木材加工部門において、2年生ながら県大会優勝、関東大会2位と貢献した。関東大会1、2年生の中で最上位のため、令和5年度「若年者ものづくり」関東地区高校生代表に推薦されることとなった。普段の学校生活においても、学習面でも悩んでいる生徒に対して丁寧にわかりやすく教える等、他の生徒の模範となった。
72		個人	まつしま まさや 松嶋 優弥	3	1年次より陸上競技部に所属し、毎日の厳しい練習に励み、精神面でも体力面でも大きく向上した。その結果、2年連続で関東高等学校陸上競技大会に出場する等の成績を残し、自身の目標を達成した。自らの技量を高めるばかりでなく、礼儀正しさ、正義感、忍耐力等も培ってきた。また、他人の立場や気持ちを理解し、後輩の相談相手になる等、その姿勢は他の生徒の模範となった。
73	藤沢清流高等学校	個人	さいとう まお 斎藤 真桜	2	美術部に所属し、熱心に作品制作に取り組んでいる。第46回全国高等学校総合文化祭東京大会に出品した作品は、制作工程や材質について検討を重ね、大きな作品の中にも、繊細なディテールを表現した作品へと結実させた。今回初めて彫刻作品に取り組むこととなったが、新たなものに挑戦していく姿勢と、それを支える能力を持ち合わせている。妥協することなく作品制作に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
74		個人	すずき はると 鈴木 陽大	3	ライフセービングのビーチ選手として、ユース部門の日本代表に選出され、Lifesaving World Championships 2022に出場し、ビーチリレーにおいて世界3位、個人ではビーチスプリントで世界6位入賞を果たした。競技以外にも、海での保安活動（監視活動）や清掃活動等も行い、社会貢献した。また、藤沢市長へ表敬訪問をし、ライフセービングの活動を広める活動をした。それらの活動は、他の生徒の模範となった。
75	小田原高等学校	個人	とみまる のあ 富丸 乃亜	3	1年次の12月より、生徒会長として学校行事等で中心的な役割を果たし、2年次には、第71回神奈川県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に参加し、優秀賞を受賞した。2年次の冬からは、未経験であった陸上競技に取り組み、3年次には第57回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会において女子円盤投で4位に入賞した。何事にも前向きに取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
76	茅ヶ崎高等学校	個人	やまだ ななか 山田 七楓	2	1年次より美術部に所属し、高校美術展では最大サイズの作品に取り組み、令和4年度ポスターコンクールにおいて、最優秀賞を受賞した。また、共催展「茅ヶ崎・寒川地区高校生アート展 芸術魂」ではS50号という1メートルを超える大作がチラシ原画に選出され、地域の文化振興活動に寄与した。その実績が茅ヶ崎市タウンニュースで取り上げられ、人物風土記等に掲載された。作品に対して真面目に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
77	鶴嶺高等学校	団体	図書委員会	—	令和3年度に、茅ヶ崎市立図書館の利用促進・読書向上を目的として、図書館の本に書店で並んでいる本のように帯を貼り込んだ形でブックフィルムをかけるという内容の陳情書が茅ヶ崎市議会で採択された。その後、市立図書館が所蔵している本をPOPの形で紹介することとなり、図書館委員が中心となり制作にあたった。その結果、多くの貸出があり、各種新聞にも大きく取り上げられた。このような活動は、他の生徒の模範となった。
78	茅ヶ崎西浜高等学校	団体	生徒会本部	—	「2022ちがさき・さむかわこどもファンド」に参画して審査員を務め、近隣の小中学生の活動を支援したり、「南湖やんべえよ」においてボランティア生徒を取りまとめ、地域の活動支援を行う等、地域の発展に貢献している。また、定期的に海岸清掃を継続する等、生徒のボランティア精神の涵養と自己有用感の醸成につながっている。様々な活動により地域連携推進に貢献したことは、他の生徒の模範となった。
79		個人	ゆうさく まゆ 遊作 真由	3	美術部に所属しており、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限がかかる中、工夫して創作活動を続け、第23回高校生国際美術展において、内閣総理大臣賞を受賞した。美術部の中心として活動するだけでなく、文化祭ほか、多くの行事に積極的に協力し、また、学業面においても多くの努力が見られた。特に今回の受賞においては、諦めずに努力を継続することの大切さをよく示しており、その姿勢は他の生徒の模範となった。
80		団体	吹奏楽部	—	新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限される中、工夫と努力を重ね、神奈川県吹奏楽コンクール高等学校の部B部門において東関東大会へ初出場を果たした。また、コンクールや定期演奏会等での演奏だけでなく、地域のイベントからの招待にも積極的に対応し、地域との交流を深め、学校を代表する部活動として近隣にも認知されている。練習を重ね、また、地域へ貢献する姿勢は、他の生徒の模範となった。

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
81	茅ヶ崎西浜高等学校	個人	いわさき うるは 岩崎 有波	2	新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限がかかる中、サッカーの練習と学業の両立に対してたゆまぬ努力を重ねた。その結果、サッカーU17日本女子代表に選出され、FIFA U-17女子ワールドカップインド2022大会にゴールキーパーとして出場することとなった。 遠征等で学校を離れる時間もあるが、学業をおろそかにすることなく取り組んでおり、厳しい練習と学校生活を両立する姿勢は、他の生徒の模範となった。
82		個人	おおしか とうき 大鹿 統毅	3	新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制限がかかる中、格闘技の練習と学業の両立に対してたゆまぬ努力を重ねた。その結果、全国大会にあたるK-1甲子園に出場し優勝した。また、行事には積極的に参加し、学習面においてもコツコツと努力を重ねている。 過酷な競技の練習と学校生活をきちんと両立させる姿勢は、他の生徒の模範となった。
83	相原高等学校	個人	いのうえ ゆうこ 井上 由子	3	1年次より、学校農業クラブ活動に精力的に取り組み、2年次には日本学校農業クラブ連盟常任理事として会務に参加した。3年次には日本学校農業クラブ連盟会長に選ばれ、全国301校、68,450名の農業高校生を代表する会長として全国大会北陸大会の運営をはじめ、関東大会茨城大会、神奈川県内のすべての大会運営に携わり、大会を成功に導いた。コミュニケーション能力を十分に発揮し、協力しあいながら農業の問題解決に取り組み、改善していく実行力は、他の生徒の模範となった。
84		個人	かとう はるか 加藤 遥香	3	プロの造園技術者としての技能の証明である2級造園技能士試験合格のため、土日や夏休みも休むことなく朝から夕方まで熱心に取り組み、見事合格をした。 2級造園技能士試験は、学科試験、100種以上の樹木の中から樹種名を答える判断試験、規定時間内に作庭する実技試験のすべてに合格して取得できる。
85		個人	つかごし なお 塚越 菜生	3	普段の造園の学習を基に資格取得を通して高度な造園の知識や技術を習得し、地域貢献に活かしたその姿勢は、他の生徒の模範となった。
86	上溝南高等学校	個人	いとう ゆうな 伊藤 優那	3	令和4年5月、アルバイトをしているコンビニエンスストアで、電子マネーカードを購入しに訪れた高齢女性の行動を不審に思い、同僚と一緒に判断して警察へ通報し、詐欺被害を未然に防いだ。 日頃から正義感に溢れ、優しく思いやりを持って他者に接し、豊かな人間性とコミュニケーション力を持っている。見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿や、状況に応じて的確に判断し行動したことは、他の生徒の模範となった。
87		団体	上南祭文化祭実行委員会	—	有志で結成された団体で毎年引継ぎを行い、4月から文化祭までの見通しを立てて活動を行った。過去2年、来場者を入れて2日間開催することがなかったため、手探り状態であったが、全校生徒が安全に楽しめるように、各担当ごとに話し合いを進めて、準備を行った。また、徹底した対策を行い、大きな問題等なく終えることができた。 安全に楽しめる行事運営を行った姿勢は、他の生徒の模範となった。
88		団体	上南祭体育祭実行委員会	—	有志で結成された団体で、定期的に打合せを行い、体育祭の開催に向けて4月から活動した。熱中症対策として、外部の体育館を借りての実施としたことから、室内でも安全に行うことができる種目を設定するとともに、感染症予防を第一に考えた競技方法・ルールを検討した上で、全校生徒が楽しめるように予行から当日の全体の運営までを自分たちの力で成し遂げた。 楽しく・安全・安心な行事運営を行う姿勢は、他の生徒の模範となった。
89		団体	地域連携実行委員会	—	上溝の「まちづくりワークショップ」に参加し、地域のために何ができるかを議論し、提案した。また、「ホテル観察会」や「バンダバンダまつり」の企画・運営を行った。さらに、地域の方と協働して野菜を栽培し、地域の方に配布した。 自分たちを取り巻く問題に常に新しい視点でアプローチし、課題解決を図る等、生きる力を育む探究活動を実践しており、その活動を通して、地域に貢献するとともに、学校と地域社会との懸け橋となった。
90	橋本高等学校	団体	福祉委員会	—	地域の福祉施設を訪問し、障がいのある方とともに、鍋敷き等の製作を行い、文化祭ではそれらの製品の販売を行った。また、相模原市社会福祉協議会から譲り受けた点字の広報紙の活用方法を生徒会本部が検討し、福祉委員会と合同で箱を作成した。この箱を文化祭の来場者に配付するとともに、当日はブースにて箱作りのデモンストレーションを行った。 これらの活動は福祉活動の活性化に大きく貢献し、他の生徒の模範となった。
91	相模田名高等学校	個人	いしびき ゆみ 石引 優美	2	令和4年6月、部活動帰りの弓道部2名が、歩行者と自動車の衝突事故に遭遇した。車にはねられて意識がなくなった歩行者の女性に駆け寄り、通行人の方とともに、救護した。1名は、声をかけ続けて女性の意識回復に努め、1名は即座に救急車を要請し、救急隊員に事故の状況を説明した。2名の的確で思いやりで満ちた行動に、翌日、通行人の方から学校に称賛のお電話をいただいた。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
92		個人	うえの いろは 植野 彩琶	2	
93		団体	福祉委員会	—	田名地区では、パラリンピック正式種目である「ボッチャ」の普及推進が行われており、福祉委員会では、地域連携推進とパラスポーツ普及を目標に、様々な活動を校内外で行っている。文化祭では、地域の交流試合を企画し、そのことはタウン紙で報道され、本活動を地域に発信できた。また、募金活動や地域交流施設でのお年寄り対象携帯電話講習会等、様々な活動を行っている。 これらの活動は、地域と学校の交流を深めており、他の生徒の模範となった。
94		個人	いとう わたる 伊藤 航	2	
95	厚木北高等学校	個人	おの りんたろう 小野 凜太郎	2	
96		個人	かぎわだ しょうた 鍵和田 匠太	2	令和3年11月、部活動帰りのサッカー部員5名が、学校付近の川で溺れている人を助けている人を目撃し、川から引き上げるのを手伝った。その後、厚木市の消防長より表彰を受けた。 見ず知らずの人に対して善意の行為を行う姿は、他の生徒の模範となった。
97		個人	きたに かんた 木谷 侃太	2	
98		個人	しおにゅう はると 塩生 晴斗	2	

令和4年度神奈川県教育委員会表彰  
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
99	大和高等学校	個人	おりはら れい 折原 怜	2	サッカー部に所属しており、第77回国民体育大会サッカー競技少年男子神奈川県選抜チームに、公立高校から唯一選出され、GKとして全試合に出場し、全国優勝に貢献した。中学2年生の夏からGKを始め、練習方法を工夫したり、努力することによって、神奈川県を代表する選手になった。 本人の努力と実績がサッカー部全体の活性化にもつながっており、そのことは、他の生徒の模範となった。
100	大和西高等学校	団体	イラスト部	—	全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）出場を目標に、活動日以外にも自主的に作品に向き合い、制作活動に励んだ。制作過程において、部員全員で相互にアドバイスをしながら切磋琢磨し、第31回全国高等学校漫画選手権大会出場を果たした。 学校の代表として地域の文化祭に作品展示を企画する等、地域の活性化にも積極的に貢献しており、その活動は、他の生徒の模範となった。
101	大磯高等学校	個人	たかやま まさき 高山 真葵	3	ラグビー部に所属しており、部員が少ないため、他校と合同チームで活動している。そこでのプレーが評価され神奈川県ラグビー合同チーム県代表のキャプテンに選出され、令和3年度関東高等学校合同チームラグビーフットボール大会でブロック2位の成績を残した。 プレー面だけでなく校内清掃や挨拶等、規律正しい学校生活を送っている他、生徒会役員を務める等、他の生徒の模範となった。
102	相模原中等教育学校	個人	よしだ りゅうせい 吉田 龍晴	4	日本棋院の院生として研修会に参加する等練習を積み、令和4年3月に毎日新聞東京本社にて行われた「花丸学習会杯第25回ジュニア本因坊戦」全国大会で、準優勝した。努力を惜しまず継続して囲碁に取り組み、その結果優秀な成績を収めた。 ひたむきに物事に取り組む姿勢は、他の生徒の模範となった。
103	平塚ろう学校	個人	たかはま さゆき 高濱 彩佑生	3	バレーボール部に所属し、専門的指導者不在の中、練習方法の提案や検討を積極的に行い、第70回、第71回関東豊学校バレーボール大会で優勝し、第24回夏季デブリニック競技大会（バレーボール）にも出場した。また、学校生活においても、生徒会役員、文化祭実行委員を務め、さらに、第39回全国高校生の手話によるスピーチコンテストに出場し、発表した。 部活動と学業を両立する姿勢は、他の生徒の模範となった。
104		個人	きくち みく 菊地 海来	3	バレーボール部の部長として、チームの中心となって活躍した。部員数が少ない中、練習メニューを考え工夫し、第70回、第71回関東豊学校バレーボール大会で優勝した。また、学校生活では文化祭実行委員長を務め、コロナ禍でもみんなが楽しめる工夫として動画を活用した出し物、児童生徒の意見を取り入れた展示物を作成する等、新しい取組に挑戦した。 部活動と学業等を両立する姿勢は、他の生徒の模範となった。
105	みどり養護学校	団体	農園芸班	—	学校近隣にある公園を定期的に訪れ、作業学習で育てたひまわりの苗を花壇に植え替えたり、除草作業を行ったりする等、地域と協働して緑化活動に取り組んでいる。また、公園を中心とした、学校周辺の清掃活動を行う等、地域の発展に貢献している。 地域の方々との交流を通して、思いやりをもって接する態度や働くことを学ぶ姿勢は、他の生徒の模範となった。
106	津久井養護学校	団体	高等部	—	学校の近隣住民の畑で、地域の特産物でもあるブルーベリーやオリーブの栽培に関する除草、防鳥ネット張り等を行っている。また、学校周辺や施設の清掃活動を実践する中で、地域の方々との交流を深め、地域に貢献する活動となっている。 地域の方々との交流しながら剪定作業、清掃活動等を行っており、自治会の方等からは感謝のお言葉を多数いただいている。これらの活動は他学部の児童・生徒にも徐々に広がっており、他の生徒の模範となった。
107	麻生養護学校	団体	元石川分教室 小学校グループ	—	高等部では「職業」の授業を3学年縦割りのグループで実施しており、そのうちのひとつである元石川分教室小学校グループは、近隣の小学校3校に出張し、昇降口や職員室等の窓ふき、昇降口の棚の汚れ落とし、体育館周囲の通路の落ち葉掃き、雑草抜き、体育館外側の窓ふき、体育館内のフロアの床清掃や体育館前の花壇の手入れ等の清掃活動を行っている。 清掃活動等を通して、地域に貢献する姿勢は、他の生徒の模範となった。
108	岩戸養護学校	団体	事務班	—	地域の高齢者の会や歴史研究を行っている団体の依頼により、会報の印刷や研究成果の冊子の印刷・製本等を例年行っている。また、神奈川県教育委員会の依頼により「いのちの授業」冊子2,000部の印刷・製本も行っている。 地域住民の文化的な活動に継続的に貢献し、地域活性化につながっており、その活動は他の生徒の模範となった。
109	横浜ひなたやま支援学校	個人	さかい くじゃく 酒井 孔雀	3	中学1年生よりボウリング競技を始め、日頃より努力を積み重ね、令和3年度と令和4年度のハマピックのボウリング少年男子の部で2年連続優勝した。また、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に横浜市代表として出場し、少年男子の部で第2位に入賞した。 部活動では、バスケットボール部のキャプテンとして引っ張っており、ボウリング競技で活躍しながら、学校生活も両立する姿勢は他の生徒の模範となった。